

中学部 1 学年

単元名	中学生になって		18時間 4月上旬～4月中旬	
単 元 に つ い て	<p>4月上旬のこの時期、1年生は中学部に入学したばかりであり、これから始まる生活に期待感を持ちつつあるが、同時に友達や先生、教室など新しい環境の中で不安感や緊張感も強いと言える。</p> <p>そこで本単元では、そのような生徒たちに入学の喜びを味わわせたり、学級の決まりや学校、学部の様子を知らせ、中学部の生活に見通しを持たせたりするとともに、中学生としての自覚を持たせ、明るく楽しい学校生活が送れるようにする。</p> <p>具体的には、自己紹介や入学した喜びを発表する活動などを通して中学生になったという意識を高める。また、学級の決まりや中学部での一日の生活、特別教室などについて知らせることでこれからの生活に見通しを持たせ、さらに、目当てを発表させることで中学生としての自覚を持たせていく。加えて、学部での歓迎会への準備活動や参加することを通して、友達と一緒に活動する喜びや学部への所属感を味わわせていく。</p> <p>それぞれの指導に当たっては、自己客観視が芽生えてくる段階であることを考慮して、自分自身の在り方や集団における役割を自分で考えさせる機会を多く設定していきたい。</p> <p>このような活動の中で生徒たちは新しい環境に慣れ、不安感などが薄らぎ、期待感もより高まっていき、楽しく積極的に生活を送ろうという意識も高めていける。また、集団生活での役割意識を高めるとともに、友達と協力する態度も養っていける。このようなことは、これからの生徒たちの生活をより豊かなものにしていくものとする。</p>			
目 標	<p>○ 入学の喜びを味わわせ、中学部の生活に見通しを持たせるとともに、中学生としての自覚を持たせ、明るく楽しい学校生活が送れるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
<p>1 新しい学級について話し合う。</p> <p>(1) 自己紹介をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名前 ・ 入学した喜び <p>(2) 座席、棚、靴箱、学級園を確認する。</p> <p>(3) 学級の係や決まりを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日直 校時表 連絡帳 係 朝(帰り)の会 更衣 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しい雰囲気を作るよう配慮し、歌や絵など一人一人の力を十分発揮できるよう発表内容を工夫して、十分認められるようにする。 ・ 自分で名前カードを準備させ、はらせることでより意識を高める。 ・ なるべく生徒の自由な発想を生かしながら話し合わせるが、係は能力などを十分配慮して決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ 画用紙 ・ 名前カード ・ 係活動カード ・ 連絡帳 ・ ボード ・ 校時表 ・ 筆記道具 	<ul style="list-style-type: none"> 国 2-5 3-4 生・交 3-1 生・基 2-38 国 2-11 2-5 4-6 道 1-(3) 	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>2 学部の生活について知る。</p> <p>(1) 学習内容、構成について調べる。</p> <p>(2) 学校巡りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別教室 ・ 食堂 ・ 校庭 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初めて経験する作業学習などについて VTRや作品などを用いて知らせる。 ・ 学習グループ編成についても指導する。 ・ 危険な場所なども知らせ注意させる。 ・ 特別教室では、その部屋に準備されている用具等を見せながらその部屋の目的を知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 作品 ・ 時間割り表 ・ 単語カード 	<p>国 3-1 2-5 3-11 3-13</p> <p>数 4-8</p>
<p>3 目当てを発表する。</p> <p>(1) 目当てを決める。</p> <p>(2) 目当てを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生になったことを意識させながら決めさせる。 ・ 言葉での発表だけでなく、絵や動作化など一人一人の力を考慮し十分発揮させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目当てカード ・ フェルトペン ・ 画用紙 	<p>国 2-5 国 4-6</p> <p>国 3-15</p>
<p>4 歓迎会の準備をする。</p> <p>(1) 昨年の様子を知る。</p> <p>(2) あいさつの練習をする。</p> <p>(3) 出し物の準備や練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出し物決め ・ 使う道具の準備 ・ 練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の VTR や写真を見せ、雰囲気をつかませておく。 ・ 絵や動作化など一人一人の力を考慮し十分発揮させ、上級生に受け入れられたという実感が持てるようにする。 ・ 出し物は生徒の関心のあるものを生かして決めさせる。 ・ 準備では実態に応じて役割分担させたり、ペアを組ませたりして、協力して行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 自己紹介用カード ・ 画用紙 ・ 小道具の材料 ・ 接着テープ 	<p>国 3-1 道 2-(3)</p> <p>生・交 3-1</p> <p>生・役 3-4</p>
<p>5 歓迎会に参加する。</p> <p>6 まとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学部全体の前で係や目当てを発表させることで、中学生になった自覚をより促すとともに承認の要求に応じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目当てカード 	<p>国 3-4 4-6</p>

中学部 2, 3 学年

単元名	新しい学年		18時間	4月上旬～4月中旬
単 元 に つ い て	<p>生徒たちは新しい学年にそれぞれ進級し、進級した喜びや自分自身何かを頑張りたいという気持ちを漠然とは感じているものの、具体的にどんなことを頑張っていたらよいのか明確な目当てや見通しを持つまでには至っていない時期である。同時にこれまでと担任や教室が変わり、緊張感や不安感も抱いており、それぞれの学年の立場や学習環境にも十分慣れていないため、進んで学校生活を送ることができない時期でもある。</p> <p>そこで、新しい学年を迎えるこの時期は、2, 3年生としての自覚を持たせ、学級の係や目当てを決めさせるなどの活動や歓迎会を通して、集団における役割や自分自身の在り方などを考えさせるよい機会となる。</p> <p>具体的には、学級での係や当番などについて話し合うことで、早く学級に慣れさせ、目当てを決めるなどの活動を通して、集団における役割や自分自身の在り方について理解させ、見通しを持って進んで学校生活が送れるようにしていきたい。また、1年生の入学を祝って2, 3年生が協力して歓迎会を計画、準備し、実施することを通して、学部の先輩としての意識や責任感を持たせるとともに優しくしてあげようという思いやりの心や集団活動へ積極的に参加していこうとする意欲や態度を育てていきたい。</p> <p>このような学習を通して、生徒たちは、進級の喜びを味わい、2, 3年生としての自覚（目標）を持って進んで集団生活を送ることができ、下級生を思いやる心も育ていき、これからの学校生活をより豊かなものにしていくと考える。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目当ての設定や歓迎会の諸準備等を通して、進級の喜びを味わわせ、新入生を温かく迎えようとする態度を育て、中学部の上級生としての自覚を持たせる。 ○ 目当ての設定や歓迎会の諸準備等を通して、進級の喜びを味わわせ、進んで新入生を温かく迎えようとする態度を養うとともに、中学部の最高学年としての自覚を持たせる。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 新しい学年、学級について話し合う。</p> <p>(1) 新しい先生や友達の名前を知る。</p> <p>(2) 進級の喜びや希望を話し合う。</p> <p>(3) 自分の靴箱、座席、棚の位置を決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新入生の名前だけでなく、新任の教師の名前と顔を一致させるようにする。 ・ 上級生になったことを喜び合い、学部の上級生、最高学年としての立場について具体例をあげながら話し合わせる。 ・ 一つ一つ確認しながら、自分で名札をはらせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スライド ・ 写真 ・ 名札 	<p>道 4-(6)</p> <p>国 3-4 4-6</p> <p>道 2-(3)</p> <p>生・基 3-34</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(4) 学年, 学級のきまりを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日直, 朝(帰り)の会, 校時表, 時間割等 ・ 係の仕事 <p>(5) 目当てを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級の目標 ・ 個人の目標 <p>2 歓迎会をする。</p> <p>(1) 歓迎会について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時, 場所, 対象 <p>(2) 歓迎会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 係分担 ・ 出し物の練習 ・ 歓迎会のあいさつ ・ 招待状作り ・ 会順, 横断幕作り ・ 名札作り <p>(3) 歓迎会をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① はじめのことば ② 中学部の歌 ③ 先生の話 ④ 歓迎のあいさつ ⑤ 新入生お礼のことば ⑥ レクリエーション ⑦ 若者たち斉唱 ⑧ おわりのことば <p>3 反省をする。</p> <p>(1) 係や目当ての発表をする。</p> <p>(2) VTRを見る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活の流れを, 話し合いの中で再確認させ, 掲示物はなるべく生徒に書かせ, 絵や写真等も利用する。 ・ 係については, 生徒の方から出させるようにし, 一人一役になるようにさせる。 ・ 目当てについては, 前年度の目当てや実態の資料も参考にしながら, できるだけ身近な具体的な事柄をあげるようにする。その際, 学年の位置付けについても考慮する。 ・ 自分自身が入学した頃のことを思い出させながら, 生徒の考えを生かしなるべく自主的に活動させ, 1年生を迎える雰囲気高める。 ・ 3年生を中心にしながら, 一人一人の能力や個性を十分生かした役割の分担を行い, 協力して活動を行わせる。 ・ 進級の喜びを十分味わわせるために, 保護者の方への参加を呼びかける。 ・ みんなの前で発表させることで, よりいっそうの自覚を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間割 ・ 色画用紙 ・ 絵 ・ 写真 ・ フェルトペン ・ VTR ・ 色画用紙 ・ 広巾用紙 ・ フェルトペン ・ のり ・ 絵の具 ・ テーブルコーダー ・ 横断幕 ・ 会順 ・ 名札 ・ 目当てカード ・ VTR 	<p>国 3-14 15 17</p> <p>数 4-8</p> <p>道 1-(1) 4-(1)</p> <p>国 3-15 道 1-(2)</p> <p>生・役 3-4</p> <p>生・役 3-1 3-2</p> <p>道 2-(3)</p> <p>国 3-4 4-6</p>

中学部

単元名	バスや電車の利用		27時間	5月上旬～5月下旬
単 元 に つ い て	<p>生徒たちの交通機関の利用の様子を見てみると、登下校だけに利用している生徒がほとんどであり、一人で交通機関を利用して公共施設を利用する経験もあまりない。そして、家族で出かけるときもほとんどの生徒が自家用車を利用している。また、新学期が始まって間もないこの時期は、通学路や交通機関の利用に不慣れな状態である。</p> <p>そこで、本単元では、停留所の名前や乗り降りの仕方等の練習をしたり、実際に利用することを通して、交通機関を利用する能力を高めたり、態度を育てたい。そして、博物館やデパートなどを見学したり、実際に利用したりすることを通して、公共施設への関心を持たせ、利用する際のマナー等を育てたい。</p> <p>指導に当たっては、一人一人の課題を達成するために、交通機関への興味・関心や登下校時のバス利用の自立の度合いなどを目安にして、三つのグループを編成して指導する。また、行き先を選ぶ際には、生徒が興味・関心を強く示しそうな博物館や美術館、文化センター、デパートなどを候補とし、目的意識を持たせ、期待感を高めながら指導する。そして、実際に利用することに反省をさせ、一人一人の学習課題を明確にしながら学習できるようにする。</p> <p>このような学習を通して、市電やバス等の交通機関を利用できる能力や態度、公共施設へ関心を持たせ、利用する際のマナーを育てるとともに、社会的な欲求をより強め、初歩的な社会事象・事物の理解を深めることができると考える。そして、社会生活に自信を持たせ、主体的に交通機関や公共施設を利用しようとする意欲や態度を育てることができると考える。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市電やバス等の交通機関の利用を通して、停留所の名前や乗り降りの仕方、マナー等の交通機関を利用する能力や態度を育てる。 ○ 博物館や科学館、デパート等の公共施設を見学したり、利用したりすることを通して、公共施設に関心を持たせるとともに、利用する際のマナーを育てる。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 バスや電車の利用について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年のVTR視聴 ・ 今年の計画 ・ グループ分け <p>2 グループごとに学習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2, 3年生の経験を発表させ、1年生の意欲付けをする。 ・ 課題意識を持たせ、学習への期待感を持たせる。 ・ 登下校時の交通機関の利用と関連付けて行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 暦 	<ul style="list-style-type: none"> 国 2-5 国 4-2 	
<p>《Aグループ》</p> <p>(1) 実際にバスを利用する。</p> <p>(2) 学習計画をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行き先 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入に実際の利用をさせることで、学習意欲を高めるとともに、学習内容を明確に意識させる。 ・ 興味・関心が高く、乗り換えの必要がない場所を選定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り物絵カード ・ 暦 	<p>数 2-7</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 期日 ・ 学習計画表を作る <p>(3) バスの利用に必要な事柄を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整理券の取り方, 降車ボタンの押し方, 整理券の入れ方, 友愛パスの見せ方 <p>(4) 実際にバスを利用する。</p> <p>(5) 反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭と連絡を密にする。 ・ 生徒一人一人の実態や課題に応じた活動の工夫と臨場感を味わいながら学習できるような状況設定をする。 ・ 安全面の指導も合わせて行う。 ・ 生徒一人一人の自信を深め, 達成感が味わえるようにする。 ・ 次への課題が明確にできるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクールバス ・ 模擬バス ・ 停留所名のカード ・ 整理券 ・ 整理券入れ ・ 友愛パス ・ VTR 	<ul style="list-style-type: none"> 生・公2-2 生・決2-7, 8 生・健3-12 道 2-(1) 道 2-(2) 道 4-(2)
<p>《Bグループ》</p> <p>(1) 身近な交通機関について知る。</p> <p>(2) 学習計画をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日, 行き先 ・ 学習計画表の作成 <p>(3) バスの利用に必要な事柄を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路線や停留所 ・ バス利用の練習 ・ 交通機関や公共施設の利用のマナー <p>(4) 公共施設の利用をする。</p> <p>(5) 反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の学習の焦点化を行う。 ・ 生徒の関心の強い公共施設を選定するようにする。 ・ 課題設定に当たっては, 家庭と連携を取り, 達成可能な課題を設定する。 ・ 役割交代をさせて行う。 ・ 公共施設の大まかな所在地を理解させるようにする。 ・ 安全面の指導も十分行う。 ・ 独自の力で行わせる。 ・ お互いの行動を確かめさせ, 新たな課題を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り物カード ・ 暦 ・ 路線図 ・ 市内地図 ・ 停留所名のカード ・ 整理券 ・ 整理券入れ ・ 模擬バス ・ 友愛パス ・ VTR 	<ul style="list-style-type: none"> 生・社2-9 数 4-9 生・公2-2 道 2-(1) 道 2-(2) 社 4-20 数 4-8 生・決2-7, 8 生・健3-12 道 4-(2)
<p>《Cグループ》</p> <p>(1) 学習計画をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日, 行き先 ・ 学習計画表の作成 <p>(2) 交通機関や公共施設の利用に必要な事柄を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路線や時刻 ・ マナー <p>(3) 公共施設を利用する。</p> <p>(4) 反省をする。</p>	<p>※ Bグループの留意点を十分生かすようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒自身に行き先を決めさせる。 ・ 必要な学習活動の焦点化を行う。 ・ これまでの経験を生かすようにする。 ・ 公共施設の機能の理解を深める。 ・ 公衆道徳について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暦 ・ 市内地図 ・ 路線図 ・ 時刻表 ※Bグループ参照 	<ul style="list-style-type: none"> 数 5-5 道 2-(1) 道 2-(2) 数 5-6 社 4-20 社 4-29 社 4-7 生・健3-12 道 4-(2)
<p>3 全体反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後, より利用するように意欲付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR 	<ul style="list-style-type: none"> 国 3-3

中学部

単元名	校内宿泊学習		18時間	5月下旬～6月中旬
単元	<p>生徒たちは、家庭において毎日繰り返される経験や、これまでの宿泊学習の経験などから、自分の身の回りのことを自分でしようとする意識が芽生えている生徒や、ほぼ確立しつつある生徒がいる。しかし、脱いだ衣服をきちんとたたんだり、お風呂で身体や髪の毛をきちんと洗ったりすることがまだ十分にできない生徒も多く、掃除・洗濯・調理のような活動になると、ほとんどの生徒が親に依存しており、自分でしようとするのは少なく、それらの活動への意識も薄い。また、集団を意識しながら活動できるようになってきつつあるが、協力しながら共に活動する姿はあまり見られない。</p> <p>そこで、本単元では、校内宿泊に向けて昨年のVTRを見たり、日程表や学習計画表作りなどを行い、宿泊への意欲を持たせるようにする。そして、入浴や寝具の取り扱いなど自分の身の回りに関することや掃除、洗濯、簡単な調理など家庭生活に必要なことなどについて一人一人の実態を考慮しながら繰り返し練習させていくことにより、それぞれの活動に見通しを持たせるとともに活動の仕方を分からせるようにする。このような活動を行うことにより、自分のことは自分でしようとする態度を育てるようにする。また、校内宿泊の活動内容には、生徒が興味・関心を持ち、自発的に活動していけるようなものや係別活動を設定していくことにより、友達と一緒に活動できるような場面を多く取り入れるようにする。</p> <p>このような活動を通して、身辺処理能力等が高まり、自発的に活動できるようになるとともに友達と協力する態度が養われ、共に活動する楽しさや喜びを味わうことができると考える。</p>			
目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活に必要な衣服や寝具の取り扱い、入浴などの身辺処理能力や、掃除・洗濯・簡単な調理などの基本的な技能を高め、自発的な生活態度を育てる。 ○ 係別活動をしながら友達や教師と共同生活をするを通して、集団の一員としての役割を意識させるとともに、友達と協力する態度を養い、共に活動する楽しさや喜びを味わわせる。 			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
<p>1 校内宿泊について話し合う。</p> <p>(1) 昨年の校内宿泊を思い出す (校内宿泊について知る。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年のVTR視聴 <p>(2) 今年の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日時、場所 ・ 日程表作り ・ 学習計画表作り ・ 係決めと分担 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR視聴により昨年の宿泊を思い出させやすくするとともに、宿泊への意欲を高める。(2, 3年) ・ VTR視聴により宿泊のイメージを持たせやすくするとともに、宿泊への興味を持たせる。(1年) ・ 活動内容については、生徒の生活の流れを基本とし、見通しを持って主体的に活動できるように配慮するとともに、生徒相互のかかわり合いの場も設定していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 暦 ・ 日程表 ・ 学習計画表 	<ul style="list-style-type: none"> 国 3-1 3-3 4-4 国 3-14 3-15 数 3-7 4-8 道 4-(1) 	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>2 校内宿泊学習の練習と準備をする。</p> <p>(1) 持ち物調べをする。</p> <p>(2) 入浴と洗濯の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴の仕方 ・ 温泉での入浴 ・ 靴下、タオルの洗濯 <p>(3) 調理練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 献立決め ・ 作り方調べ ・ 買い物 ・ 調理、会食、片付け <p>(4) 寝具の扱い方の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シーツやタオルケットの敷き方、たたみ方 <p>(5) 掃除の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掃除機の使い方 <p>(6) 学級での出し物練習をする</p> <p>(7) 係別活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲーム大会の準備 ・ レクリエーションの準備 ・ 集会の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実態調査を基に、家庭と連携を取りながら個人の課題を明確にして取り組ませる。 ・ 自分の荷物の確認をさせた後、荷物の整理の仕方やたたみ方等も指導していく。 ・ 入浴後自分のはいていた靴下や使ったタオルなどは手洗いをさせ、簡単な洗濯の仕方について取り扱うようにする。 ・ 経験の違いや興味・関心を考慮しながら、献立は生徒が意欲を持って取り組みできるだけ自分たちで作れるようなものに決めさせる。 ・ 献立決めから買物、調理、片付けという活動を通して、調理に必要な一連の活動を理解させる。 ・ 掃除・洗濯・寝具の扱い方などについては、生徒の実態や経験に応じて重点的に扱っていくようにする。 ・ 自分たちが宿泊する場所や調理室などを掃除させ、用具にはカーペットクリーナーやガラスクリーナー等、生徒が興味を示すようなものを準備しておく。 ・ 係を分担する際には、学年を解いたグループを編成し、他学年の生徒とのかわりが深められるようにする。 ・ 係別の活動を行う際には、それぞれの役割を意識させたり、友達と協力して活動させるような内容を選ぶようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊用具 ・ 着替え ・ 洗面用具 ・ 洗濯洗剤 ・ 洗濯機 ・ 調理用具 ・ 材料 ・ 寝具一式 ・ 掃除機 ・ カーペットクリーナー ・ ぞうきん ・ 宿泊用具 ・ 調理用具 ・ 寝具 等 ・ VTR 	<p>生・基 3-34 3-36 21~26</p> <p>道 -(1)</p> <p>生・手 3-6</p> <p>生・基 3-5</p> <p>生・金 8-3</p> <p>生・基 3-1 3-3 3-4 2-9</p> <p>生・基 3-15</p> <p>生・役 5-4</p> <p>生・手 6-5</p> <p>国 3-7 音 3-7 3-9 3-12 4-7</p> <p>4-8</p> <p>生・役 5-1</p> <p>道 4-(3) 2-(3)</p>
<p>3 校内宿泊に参加する。</p>			<p>生・基 1-11 ~14 1-16</p>
<p>4 反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VTR視聴 ・ 頑張ったことの発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張ったところを発表したり、認め合ったりする場面を設定することにより成就感を味わわせる。 		<p>道 1-(1)</p>

中学部

単元名	校外宿泊学習		18時間 6月下旬～7月上旬	
単元について	<p>生徒たちにとって、学校や家庭を離れ自然の中で友達と一緒に生活する経験は、非日常的で新鮮味があり興味・関心が高い。と同時に、自分のことは自分で、様々な活動は生徒たち自身で協力してしなければならないという状況にある。このような宿泊に向けて活動することは、校内宿泊を経験し、自分の身の回りのことに主体的に取り組もうとする態度が養われつつある生徒たちにとって、校内宿泊での活動をより発展的に取り扱うことで、身辺生活への意欲を高めていける場となる。また、自他の役割を意識して共に活動することの少ない生徒たちにとって、様々な活動を自分たちで行う過程で、互いに協力していくことの必要性を学ぶことのできる機会ともなる。更に、自然の中での活動を通して、自然と触れ合う体験を得させることができる場でもある。</p> <p>そこで本単元では、生活経験や自我の発達段階、課題等考慮し、学年を解いた縦割りのグループを編成し、準備や練習、当日の活動などグループを中心として活動させていくようにする。その際各グループに応じた活動を設定し、その中で成員相互がテーマを意識し活動できるように個々の生徒に応じた役割を設定していくとともに、共同的な活動も取り入れていく。このような活動を通して、自他の関係に気付かせ、個々の生徒の役割意識を高めていくとともに、友達と協力して活動する喜びを味わわせたいものとする。また、当日に向けての荷物や道具の準備活動や当日の活動をグループ内で協力して行うことで、道具の取り扱いや荷物の整理の仕方などへの意識や技能を高められる。更に、自然を取り入れたゲームや散策活動などを通して自然の有様や身近な自然物などへの関心を持たせていけるものとする。</p>			
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校外宿泊に向けて係分担し、活動の計画を立てたり準備をしたりすることを通して主体的に活動に参加できるようにするとともに、共に活動する喜びを味わわせる。 ○ 校内宿泊での経験を基に、掃除や荷物の整理、入浴、調理等の活動を通して、日常生活における基本的な技能や態度を高め、自発的な生活態度を養う。 ○ 登山や散策などの自然と触れ合う活動を通して、動植物や自然事象への興味・関心を高める。 			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
<p>1 校外宿泊の計画を立てる。</p> <p>(1) 昨年の校外宿泊について思い出す(知る)。</p> <p>(2) 今年の校外宿泊の計画を立てる。</p> <p>① 行先、期日、活動内容について話し合う。</p> <p>② 日程表を作る。</p> <p>(3) 準備や練習する内容を話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを視聴させ、校外宿泊の様子を思い出させたり、イメージを持たせたりして意欲を高める。 ・ 活動内容については、生徒の経験や興味・関心を考慮したり、役割分担したりして、個々の生徒が主体的に活動できるようにするとともに自然との触れ合いを十分に持てるよう配慮する。 ・ 計画を立てる段階では、校外宿泊経験のある2、3年生をリーダーとして生徒たちが主体的に立案できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 暦 ・ 地図 ・ 時計 	<p>図 4-1</p> <p>数 3-7 数 4-7 数 4-8 家 4-41 社 4-6</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>① 学習計画表を作る。</p> <p>② 班決め・係分担をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲーム係 ・ 生活係 ・ 集会係 ・ キャンプファイヤー係 <p>2 校外宿泊の準備や練習をする。</p> <p>○ 宿泊の準備をする。</p> <p>① 班での準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲーム大会の準備 ・ 日程カードや起床テープの準備 ・ 集会活動の準備 ・ キャンプファイヤーの用具の準備 <p>② 持ち物の準備をする。</p> <p>③ 道具の準備をする。</p> <p>④ 買い物をする。</p> <p>⑤ 荷物を積み込む。</p> <p>○ 宿泊の練習をする。</p> <p>① 調理の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 献立決め ・ 作り方調べ ・ 調理 ・ 会食 ・ 後始末 <p>② キャンプファイヤーの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャンプファイヤー ・ 班のレクリエーション <p>3 校外宿泊をする。</p> <p>校外宿泊の活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の係や班については、生活経験、興味・関心、昨年の係などを考慮するとともに、生徒相互が協力して活動できるように配慮して集団構成する。 ・ 各班の活動は、成員相互が協力して活動できるよう共同的な活動や、役割を明確にした活動を準備するとともに、宿泊当日の活動に結び付け生徒が主体的に活動できるように配慮する。 ・ 準備は各班で分担して活動させるが、活動の開始と終わりは全体で行い、各班の活動の必要性を意識させたり、活動を認め合ったりする。 ・ 生徒たちの経験や興味・関心、校内宿泊での調理との関連等を考慮し献立を決めるとともに、調理活動の経験の拡大を図るように配慮する。 ・ 献立を各班で分担して調理するようにして役割を明確にさせ、協力して活動できるようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暦 ・ 調理道具 ・ トーチ 	<p>社 4-10</p> <p>道 2-(3)</p> <p>職 4-7</p> <p>職 4-15</p> <p>生・基 3-28</p> <p>生・基 3-36</p> <p>家 4-45</p> <p>職 4-26</p> <p>家 4-16 ~18</p> <p>家 4-20 ~23</p> <p>社 4-10</p> <p>音 4-6</p> <p>理 4-8</p> <p>理 4-23</p> <p>道 3-(1)</p>
<p>4 反省をする。</p> <p>(1) 道具の後始末をする。</p> <p>(2) 反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張ったことを発表する場を設定し、生徒相互で活動を認め合うことで所属や承認の欲求に応じる。 		<p>職 4-14</p> <p>国 4-4</p>

中学部

単元名	楽しい夏休み		18時間 7月上旬～7月下旬
単元	<p>生徒たちは、一学期の学習活動を通してそれぞれに成長している。そこで、学期という節目で自らの生活を振り返り互いの成長を確かめ合うということは、自己客観視が芽生え社会的承認を求めるこの段階の生徒たちにとって有意義なことである。その後に来る夏休みは、暑さにより体調を崩しやすい時期であり、生活のリズムを崩しやすい時期でもある。また、長期的に学校生活を離れるために、かねてできないことに取り組むよい機会である。したがって、この時期に夏休みを計画的に過ごそうとする態度を育てたり、有意義な活動に取り組もうとする意欲を育てたりすることは大切なことである。</p> <p>具体的には、四月に立てた自分の目標、行事、身体の成長を振り返らせ一学期の自己の成長に気付かせるとともに、それぞれ成長した点を全体で発表し合うことにより、お互いの成長を認め合わせ、これから始まる夏休みも頑張るぞという意欲を持たせたい。その上で、夏休みの過ごし方について考えさせる。まず、楽しい夏休みの行事を知ることにより、夏休みは楽しいものだということに気付かせる。次に、実際に海に行くことにより、自然に触れる楽しさを味わわせ、夏休みの生活への期待感を持たせるとともに、規則や安全面についても学習させたい。最後に、夏休みの計画、決まりや生活について話し合い、健康や安全に気を付け、規則正しい生活が送れるようにさせたい。</p> <p>このような学習活動を通して、生徒たちは、自己の成長を知ることができるとともに計画的で有意義な夏休みの生活が送れると考える。</p>		
目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度当初に立てた目標や一学期の学習活動や身体の成長などを振り返らせ、発表させることを通して、お互いの成長に気付かせる。 ○ 夏休みの生活について過ごし方を考え、計画的で有意義な生活を送ることができるようにする。 		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>1 一学期の学習活動を振り返る。</p> <p>(1) 年度初めの目標について確かめる。</p> <p>(2) VTRを見て反省をする。</p> <p>(3) 写真の整理をしながら、アルバムの作成をする。</p> <p>(4) 持ち物の整理をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 互いの成長の発表の場（一学期に身に付けたこと）を設定し、認め合わせることにより、社会的承認の得られやすい環境づくりを工夫をする。 ・ 身体測定個人票等により自己の成長に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連絡帳 ・ 暦 ・ 身体測定個人票 ・ VTR ・ アルバム ・ 作品等 	<p>道 1-(1)</p> <p>数 4-9</p> <p>国 3-4</p> <p>国 3-9</p> <p>国 4-1</p> <p>生・健 3-2</p>

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>2 夏休みの過ごし方を考える。</p> <p>(1) 夏休みの楽しい行事を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海水浴 ・ 夏祭り（六月燈） ・ キャンプ ・ 墓参り（お盆） <p>(2) 「海へ行こう」の学習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前学習（規則、安全、海辺の生き物について） ・ 海での活動 ・ 反省 <p>(3) 夏休みの計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みの課題帳作り ・ 夏休みの計画表作り <p>(4) 夏休みの決まりや生活について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康面（規則正しい生活、睡眠、運動、病気治療） ・ 安全面（交通事故、水遊び、火遊び） ・ 手伝いについて ・ 外出の諸注意（公衆道徳等） ・ 地域行事への参加（ラジオ体操、夏祭り等） <p>3 まとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各自の夏休みの目標の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しさとともに、古くからの伝統行事や自然に触れるよい機会であることを抑さえ、進んで行事に参加しようとする意欲を持たせる。 ・ 規則、安全面だけでなく、自然に親しむ（自然で遊ぶ）ことの楽しさを体験させ、夏休みの生活への期待感を持たせる。 ・ 課題帳を作り内容を確かめることにより、夏休みが来るのだという意識を持たせる。 ・ 一日の計画や、夏休みの予定について家族と相談させ、発表させる。 ・ 模範VTRを見ながら、規則正しい生活について考えさせる。 ・ それぞれ夏休みに頑張ることを決めさせる。 ・ 仕事をする事への興味を持たせ、家族の一員であるという所属感を持たせる。 ・ それぞれの地域行事を予定表に記入させ地域の人々との交流を図らせる。 ・ 夏休みに頑張ることの発表をさせ、夏休みを楽しく有意義に過ごそうとする意欲を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暦 ・ 絵カード ・ VTR ・ 水着 ・ バケツ ・ 水中メガネ等 ・ 夏休みの課題帳 ・ 夏休みの生活の心得 ・ 模範VTR ・ 目覚まし時計 ・ ラジオ体操カード 	<p>国 4-1</p> <p>生・決2- 生・自2-2 道 3-(1)</p> <p>国 3-4 国 3-9 生・決3-2 生・基3-11 3-14 生・決2-3 生・健2-6 生・健2-13 生・交2-3 道 4-(1) 職 4-1 職 4-3 社 4-8 国 3-4 国 3-9</p>

中学部

単元名	運 動 会		36時間 9月上旬～10月上旬	
単 元 に つ い て	<p>運動会はその準備も含め、自分の体を精一杯動かして活動でき、興味・関心の高い行事である。生徒たちの様子を見ると、友達と活動する楽しさは味わっているが自他の役割を意識しお互い協力して活動するまでには至っていない。また、承認の欲求は強いものの表現力に乏しい面がみられる。</p> <p>そこで、本単元では、興味・関心を持続させていくことで諸準備や練習に最後まで積極的に参加しようとする態度を育てることができる。また、諸準備や練習で友達と十分活動する楽しさを味わう中で自分の役割を果たそうとする態度や協力する態度が養われると考える。更に練習を通して運動や健康への関心を高めることができると考える。</p> <p>具体的には、諸準備や練習に意欲的に取り組ませるために、昨年のVTR視聴や今年の計画を調べることにより見通しを持たせるとともに、生徒の希望や意見を尊重した係分担、協力して行ったり競争心を育てたりする種目を設定していく。また、役割意識を高めるために、経験、自我の発達段階、興味・関心を考慮し、学年を解いた縦割りのグループや学級ごとの活動を通して個に応じた役割を設定していくとともに共同的な活動を取り入れていく。諸準備、練習とともに発表の場を数多く設け、承認の欲求や自己を表現する喜びを味わわせていく。なお、運動や健康への関心を高めるために、練習において、運動と健康の関係に触れたり、運動後の手洗いやうがい、汗ふきなどの衛生面の指導も行う。</p> <p>このような学習を通して、生徒たちは成就感が得られ、最後まで積極的に参加しようとする態度や役割意識、進んで運動に取り組む態度が育てられると考える。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 係活動や種目の道具作りや練習を通して、運動会への見通しや意欲を持たせ、最後まで積極的に参加しようとする態度を育てるとともに、自分の役割を果たそうとする意識や友達と協力する態度を養う。 ○ 運動会の練習や競技に参加することを通して、運動や健康への関心・意欲を高め、運動能力の向上や健康の増進を図る。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 運動会について話し合う。</p> <p>(1) 昨年の運動会について思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加種目 ・ 応援 ・ 係 <p>(2) 今年の運動会について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日程について ・ 種目について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRや写真により、昨年の運動会を思い出させやすくするとともに、動作化させて運動会への意欲を高める。(2・3年) ・ VTRや写真、上級生の動作を見ることにより、運動会のイメージを持たせやすくするとともに、運動会への興味を持たせる。(1年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 昨年のプログラム ・ 絵カード ・ 暦 ・ 文字カード ・ 絵カード 	<p>国 4-4 国 3-4</p> <p>数 3-7</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(3) 学習計画を立てる。</p> <p>2 運動会の準備をする。</p> <p>(1) 組分けや係を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 赤, 白 ・ 応援係, 旗係, 装飾係 ・ 当日の係 <p>(2) 係活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応援係…はちまき, うちわ等 ・ 旗係…万国旗 ・ 装飾係…看板 <p>(3) 各係の活動内容の発表を行う。</p> <p>(4) 学部種目やリズムについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 種目の内容 ・ 曲の選定 ・ グループ分け ・ 必要な用具 <p>(5) 用具作りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演技用の小道具作り <p>3 運動会の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短距離走 ・ 学部種目 ・ リズム ・ 全体練習 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>運動会に参加する。</p> </div> <p>4 反省をする。</p> <p>(1) 用具の後始末をする。</p> <p>(2) 競技や係の反省をする。</p> <p>(3) 楽しかったことや頑張ったことを発表する。</p> <p>(4) 運動会の思い出を絵や作文にかく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会に向けてどのような活動があるか話し合い運動会への見通しを持たせる。 ・ それぞれの係の意義について押さえ、活動の見通しを持たせ、意欲を高める。 ・ 生徒の興味・関心、昨年の係などを考慮するとともに、生徒相互が協力して活動できるように配慮して集団構成する。 ・ 各係活動は、成員相互が協力して活動できるよう共同的な活動や、役割を明確にした活動を準備するとともに、生徒が主体的に活動できるよう配慮する。 ・ 各係で作ったものをお互いに発表し合うことを通してそれぞれの活動を認め合わせる。 ・ これまでの学習体験や興味・関心等を考慮したものを行わせる。 ・ かかわりを促すために、友達と協力したり競争したりできる競技を行わせる。 ・ 学年での役割意識を高めるために、学級ごとに分担して行わせる。 ・ 保健体育科との関連を持たせて行う。 ・ 練習の大切さを理解させ、主体的に練習に取り組ませる。 ・ 動きのよい生徒や頑張った生徒は賞賛するとともに他の生徒の参考にさせる。 ・ 運動と健康の関係について触れるとともに練習後の汗の始末、手洗い・うがい等を通して健康への意識を高める。 ・ 頑張ったことを発表したり、認め合ったりする場面を設定することにより、成就感を味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習計画表 ・ 色画用紙 ・ 文字カード ・ 名前カード ・ うちわ ・ 笛 ・ 紙 ・ 絵の具 ・ フェルトペン ・ 絵カード ・ テーブルコーダー ・ 各種目で使用する用具 ・ ストップウォッチ ・ 学習計画表 ・ VTR ・ 小道具 ・ クレパス ・ 絵の具 	<p>生・役 3-2</p> <p>道 4-(1)</p> <p>道 2-(3)</p> <p>美 3-7</p> <p>美 3-11</p> <p>国 3-4</p> <p>美 3-11</p> <p>美 3-9</p> <p>道 1-(5)</p> <p>保健 3-2</p> <p>3-3</p> <p>3-16</p> <p>3-18</p> <p>3-28</p> <p>保健 4-4</p> <p>4-6</p> <p>生・役 3-4</p> <p>国 4-4</p> <p>美 3-2</p> <p>国 4-15</p>

中学部

単元名	秋の野山		27時間 10月上旬～10月下旬
単元	<p>生徒たちの学校生活や家庭生活の様子を見てみると、自転車やボールで遊んだり、カセットテープを聞いたり、VTRを見たりするなど、室内での遊びや作られた物とかかわることが多く、身の周りの花木や草花等の植物へ目を向けたり、こおろぎやすす虫などの昆虫と接したりする機会が少ない。また、野山に出かけたり公園へ行っても、花木や果実などの植物の様子や変化に興味を持ったり、それらに自らかかわったりすることは、まれである。</p> <p>そこで本単元では、学校近辺の野山を観察したり、木の実や木の葉を収集したり、そしてそれらを使ったどんぐりのこま作りやネックレス作りなどの作る活動を通して、自然と触れ合う楽しさを味わわせたい。また、生徒たちは、調理活動に興味・関心が高いので、一日遠足で収穫した果物や秋に収穫される野菜類を使った調理活動を通して、季節感を味わわせたい。そして、木の葉や木の実を使った活動や季節の果物や野菜を使った調理活動を通して、秋の自然に関心を持たせるとともに、簡単な道具の取り扱い方の理解をより高めていきたい。</p> <p>指導に当たっては、生徒たちが秋という季節の特徴に気付き、関心を持ちやすいように教材の工夫をする。そして、木の葉や木の実を使った活動では、生徒たちが興味を持つようなおもちゃ作りを取り上げ、作る楽しさを味わわせるようにする。また、調理活動や球根植えでは、役割活動ができるように学習活動の工夫を行い、友達とのかかわりを促すようにする。これらの活動を通して、感動体験を味わい、身の周りの花木や草花、果物等の変化に関心が高まり、花木や草花等の植物とかかわる機会が多くなり、潤いのある生活を送ることができるようになると思う。</p>		
目	<p>○ 野山の観察や、木の実や果物、野菜等を使った活動を通して、簡単な道具や調理器具等の取り扱いに慣れさせるとともに、季節感を味わわせ、秋の特徴を理解させる。</p>		
標			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>1 秋の野山の様子について話し合う。</p> <p>(1) 秋の野山のVTRを見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 草木の変化 ・ 野菜や果実の様子 <p>(2) 学習の計画について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観察の期日 ・ 一日遠足の期日、場所 ・ 調理の期日 <p>2 秋の野山の観察をする。</p> <p>(1) 近辺の野山の観察をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野山、田畑の様子をVTRで見せ、自然の変化に気付かせる。 ・ 初夏の様子と比べられるように教材の工夫をする。 ・ 今後の学習に見通しを持たせ、学習に意欲的に取り組ませるようにする。 ・ 果実や図鑑、絵カードなどを準備しておく、意欲的に収集できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 図鑑 ・ 絵カード ・ 暦 ・ 学習計画表 ・ 木の葉 ・ 木の実 	<p>理 4-22 理 4-24 生 3-7 道 3-(1)</p> <p>数 3-7</p> <p>社 4-7, 27</p>

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(2) 木の実や木の葉を収集する。</p> <p>3 木の実や木の葉を使って作品を作る。</p> <p>4 一日遠足について話し合う。</p> <p>(1) 今年の計画について聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日, 場所, 活動内容 ・ 目的地での留意点 <p>(2) 持ち物について話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>一日遠足に参加する。</p> </div> <p>5 秋の味覚を味わう。</p> <p>(1) 秋の果物や野菜について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠足で収穫した物の発表 <p>(2) 調理計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 献立決め <p>(3) 作り方を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料や道具, 手順 <p>(4) 調理の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料, 道具 <p>(5) 調理をする。</p> <p>(6) 反省をする。</p> <p>6 秋植えの草花を植える。</p> <p>(1) 秋植えの草花について知る。</p> <p>(2) 鉢やプランターに植える。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 植え方を聞く。 ② 道具や材料を準備する。 ③ 鉢やプランターに植える。 <p>7 まとめと反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昆虫を採集させるとともに, むやみに木の枝を折らないようにさせる。 ・ 生徒の創造性を大事にする。 ・ 秋の味覚を味わえることを説明し, 期待感を持たせるようにする。 ・ 留意点については, できるだけ具体物を提示し, また実際の操作を通して, 説明するようにする。 ・ 収穫してきた物をみんなで調理することを話し, 学習活動への見通しを持たせる。 ・ 絵カードや文字カード, 実物などを準備しておき, 生徒の実態に応じて活動させるようにする。 ・ 一日遠足と関連させながら指導を行うとともに, 店先にどんな果物や野菜が並んでいるかに関心を持たせる。 ・ 生徒の興味・関心のある献立, 生徒自身で調理できる献立を決めさせる。(スイートポテト, フルーツサラダ等) ・ 材料の準備や道具の準備, 調理, 片付けという一連の活動を通して, 調理に必要な一連の活動を理解させるようにする。 ・ 実際に応じて, 役割分担をさせる。 ・ 家庭との連携を密にして, 活動に意欲的に取り組めるようにする。 ・ 秋に植えると春に咲くことを理解させる。 ・ 球根の種類と花との関連が理解できるように, 教材の工夫をする。 ・ 一人一鉢ずつ植えさせ, 成長に関心を持たせるようにする。 ・ 生徒の関心のある球根を選ばせる。(チューリップ, 水仙, アネモネ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図鑑 ・ 接着剤 ・ 画用紙 ・ 暦 ・ 果物 ・ 野菜 ・ 絵カード ・ 文字カード ・ 絵カード ・ 調理道具 ・ 図鑑 ・ 植木鉢 ・ プランター ・ 腐葉土 ・ 名前カード ・ 球根 	<p>生・決 3-4</p> <p>美 3-8, 10</p> <p>生・自 3-1</p> <p>社 4-7</p> <p>職 4-2</p> <p>道 3-(1)</p> <p>国 4-15</p> <p>職 4-14 17</p> <p>家 4-16 -24</p> <p>道 2-(3)</p> <p>道 4-(1)</p> <p>道 1-(5)</p> <p>生・自 3-2</p> <p>職 4-15</p> <p>道 3-(1)</p> <p>国 3-1</p>

中学部 2, 3 学年

単元名	修学旅行（隔年）		18時間 10月中旬～10月下旬	
単 元 に つ い て	<p>修学旅行は、自分の住む地域を離れ、見知らぬ自然や文化に直接触れることのできる機会であり生徒たちの最も楽しみにしている学校行事の一つである。中学部の2, 3年生は、これまで校内・校外宿泊や交通機関の利用などの学習を通して、基本的な生活習慣や集団生活の在り方などの能力や態度を身に付けてきているとともに、身近な自然や文化についての興味・関心を持ちつつある。しかし、社会へのかかわりの範囲は身近な地域に限られており、集団生活を友達と協力して楽しく過ごそうとするまでには至っていない。</p> <p>そこで、グループでの活動や役割分担等を決めたり、目的地の自然や施設、利用する交通機関を調べたり、他校との交流の準備や練習をしたりするなどの学習を通して、集団の中での自分の役割を意識させ、友達と協力する態度を育てていく。また、そのような学習を通して、様々な地域や交通機関への興味・関心を広げながら社会的マナーについても意識させ、より積極的に社会生活に参加する態度を養っていくことができる考える。</p> <p>単元を展開するに当たっては、自我の発達段階や生活能力等を考慮しながらグループを構成するとともに、グループの成員相互がお互いの役割を意識できるような活動内容を工夫する。そして、準備活動から当日の行動や宿泊を一緒にさせることで仲間意識や旅行への期待感や見通しを持たせるようにしていく。また、目的地や交通機関については、生徒の興味・関心や経験の拡大という視点から選定していくとともに、資料の充実を努め、生徒たちが主体的に学習に取り組めるようにしていく。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的地の施設や自然などについて調べたり、交流会の準備をしたりなどして、様々な地域への興味・関心を持たせ、意欲的に修学旅行に参加できるようにする。 ○ グループ分けや係分担、準備などの活動を通して、集団の一員としての役割意識を持たせ、協力して楽しく集団生活を送ろうとする態度を養うとともに、交通機関や施設の利用の仕方などのマナーについての意識を高める。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 修学旅行について話し合う。</p> <p>(1) 修学旅行について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日 ・ 目的地 ・ コース（日程） <p>(2) 日程表や地図を作る。</p> <p>(3) 学習計画表を作る。</p> <p>2 修学旅行の準備をする。</p> <p>(1) グループ分けや係分担をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の修学旅行のVTRを視聴させ、修学旅行へのイメージを持たせ、期待感を高める。 ・ 目的地や交通機関のパンフレットや写真等を準備して日程表や地図を作成させ旅行への関心を高めるとともに、地図や地名への興味を持たせる。 ・ 班長やグループ名を決めて、仲間意識を持たせ、旅行中はグループを中心に行動、生活することを意識付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 地図 ・ パンフレット ・ 地図 ・ 写真 	<ul style="list-style-type: none"> 国 4-1 社 4-29 30 数 3-7 4-7 社 5-28 社 4-6 4-10 道 2-(3) 	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(2) 目的地や利用する交通機関について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的地 ・ 交通機関 ・ ホテル <p>(3) しおりを作る。</p> <p>(4) 交流会の準備や練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介 ・ 出し物練習 ・ プレゼント準備 <p>(5) 持ち物を調べる。</p> <p>3 旅行中のマナーについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通機関の利用の仕方 ・ 施設の見学の仕方 ・ ホテルでの過ごし方 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>修学旅行に参加する</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとに分担して目的地や交通機関について調べ、全体の場で発表させたり、しおりの原稿を作成させたりして集団での役割意識を持たせる。 ・ 目的地や交通機関については、生徒たちの興味・関心や経験の拡大などを考慮して選定し、資料を準備し主体的に取り組めるようにする。 ・ しおりの原稿を持ち寄り、印刷させたり、製本させたりして、旅行への見通しを持たせる。 ・ 交流校のVTRや手紙を見たり、手紙を書いたりさせ、交流への期待感を持たせる。 ・ 毎日の着替えを整理させたり、バッグに詰めさせたりして、身の回りの物の整理への意識を持たせる。 ・ 旅行中のマナーについては、具体例を示したり、模倣的に行動させたりして意識させる。また、グループごとに目標を立てさせ、当日の実践へと結び付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パフレット ・ 写真 ・ 地図 ・ しおり ・ 製本道具 ・ VTR ・ 手紙 ・ 旅行バッグ ・ VTR ・ しおり ・ 写真 	<p>生・社 3-5</p> <p>職 4-36</p> <p>国 4-14</p> <p>社 4-1</p> <p>国 4-16</p> <p>美 4-10</p> <p>生・基 3-1-28</p> <p>生・基 3-1-36</p> <p>社 4-7</p> <p>社 4-8</p> <p>道 4-(1)</p>
<p>4 反省をする。</p> <p>(1) 思い出を発表する。</p> <p>(2) しおりのまとめをする。</p> <p>(3) お礼の手紙を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行中のVTRを視聴させたり、しおりを見せたりして、旅行中の出来事を思い出させる。 ・ 旅行中にお世話になったバスガイドさんや、交流校の友達にお礼の手紙を書かせ、感謝の気持ちを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ しおり ・ 写真 	<p>国 4-4</p> <p>国 4-15</p> <p>国 4-16</p> <p>道 2-(4)</p>

中学部 1. 2 学年

単元名	校 内 実 習		18時間 11月上旬～11月下旬	
単 元 に つ い て	<p>本単元は、間近に迫った作業学習として行われる「校内実習」へスムーズに、かつ意欲的に参加できるようにするために設定されたものである。これまでの校内実習への取り組みの様子を見てみると、1年生は、初めて経験するために明確なイメージを持たず、2年生は、前年に経験しているために大体的見通しが持てるものの、校内実習への参加意欲が低く、また協力して仕事をしようとする意識が低いようである。</p> <p>そこで本単元では、校内実習の材料の提供先の職場見学や高等部の校内実習の見学などを通して、校内実習への見通しや参加意欲を高めさせたい。そして、校内実習に関連する係分担や作業分担を話し合ったり、事前に作業を経験させたりして、友達と協力することの必要性や大切さの理解を深めさせたい。</p> <p>指導に当たっては、職場見学をしたり、高等部の校内実習の様子を参観したりして、校内実習への参加意欲を高めていく。そして、実習中の一日の流れに沿った指導や実際の作業を事前に経験させるなどして、校内実習の見通しをより明確に持たせるようにする。また、これまでの作業学習の指導内容との関連を図り、学習に反映させるようにする。そして、次の単元である「年のくれ」の学習活動と関連付けながら指導を行い、校内実習への意欲をより喚起したい。</p> <p>このような学習を通して、校内実習に向けての見通しを明確に持ち、協力することの大切さを理解でき、校内実習へスムーズに、かつ意欲的に参加できるようになるとともに、初歩的な社会の仕組みの理解が深まるものとする。</p>			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職場見学や高等部の校内実習の参観、実習種目の事前学習を通して、実習への見通しを持たせるとともに、意欲を高める。 ○ 実習中のいろいろな係分担や仕事の役割分担を話し合うことを通して、友達と協力することの必要性や大切さを理解させるとともに、協力して仕事をしようとする意欲を高める。 			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 校内実習の計画について知る。</p> <p>(1) 昨年度の校内実習について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VTRの視聴 ・ 作業内容の発表 ・ 頑張ったことの発表 <p>(2) 今年の計画について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日、作業内容 ・ 学習計画表の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生の経験を発表させ、1年生の興味・関心を高めるようにする。 ・ 2年生に頑張ったことなどを発表させ1年生の課題意識を高めるようにする。 ・ 前年度の製品を提示し、振り返りやすくする。 ・ 材料、製品を提示し、作業内容を理解しやすくする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 暦 ・ 製品 ・ 作業原材料 	<p>国 3-3</p> <p>職 4-2</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>2 職場見学をする。</p> <p>(1) 職場見学の計画について聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 期日, 見学先 <p>(2) 職場見学をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内実習と職場実習の事業所の見学 <p>3 校内実習の準備をする。</p> <p>(1) 高等部の校内実習を見学する。</p> <p>(2) 実習日程について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出勤→実習日誌の提出→朝礼→作業→休憩→後始末→終礼→退社 <p>(3) 実習中の係分担を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃, 湯茶等 <p>(4) 実習日誌を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 記入の仕方 <p>(5) 実習中の決まりについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出社時, 作業中, 休憩時 持ち物, 退社時 <p>(6) グループ分けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業種ごとの学習 作業分担と練習 <p>(7) 作業時の留意点を話し合う。</p> <p>(8) 現場実習仕行会の準備をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 仕行会をする 校内実習をする </div> <p>4 校内実習の反省をする。</p> <p>(1) 校内実習のVTRを見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 頑張ったことの発表 <p>(2) 現場実習のVTRを見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年生の報告 	<ul style="list-style-type: none"> 校内実習や現場実習の事業所を見学することを理解させるようにする。 見学の視点を知らせておくようにする。 作業内容や作業態度に注目させるようにする。 あいさつの指導も十分行う。 校内実習への意欲を高めるようにする。 見学の視点を提示して見学させるようにする。 日程表を基に, 一日の流れに沿って具体的な場面を設定し, 動作化させながら展開するようにする。 学年差, 実態などを考慮して分担させるようにする。 実習日誌の書き方の指導も事前に行う。 実習日誌の使用について, 家庭にも事前に連絡をする。 作業学習や職場見学などの具体的な場面を思い出させて, 考えやすいようにする。 作業種, 作業分担を理解しやすくするために, 具体物や絵カード, 作業工程表などを準備する。 友達と協力することの大切さに気付かせるようにする。 3年生を励ますとともに, 校内実習への意欲を高める。 お互いの作業の様子を認め合い, 所属や承認の欲求を充たせるようにする。 2年生は, 来年度現場実習へ行くことを意識させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日程表 朝礼, 終礼の進行カード 名前カード 部屋名カード 実習日誌 単語カード 絵カード 原材料 道具 作業工程表 分担表 名前カード VTR 暦 	<p>道 2-(1) 道 2-(5) 道 2-(4) 職 4-32 34, 37 社 4-24 社 4-1 道 2-(1) 国 4-3 道 4-(9) 道 2-(1) 職 4-31 道 4-(1) 国 3-2 道 4-(2) 国 4-6 生・手 3-5 道 1-(2) 生・基 3-31 生・基 3-34 職 4-3 職 4-27 職 4-39 社 4-25 国 3-2 国 3-2 道 2-(5)</p>

中学部 3 学年

単元名	現 場 実 習		18時間 11月上旬～11月下旬	
単元	<p>現場実習は、これまで身に付けた働く態度や習慣を基に、実社会の中で実際に仕事に参加して、自分の力を試す場であり、また、社会人としての望ましい集団行動や規律や勤労の態度、対人関係の在り方を学ぶ場でもある。</p> <p>生徒たちは、これまでに校内実習を2回経験してきており働くことについての興味・関心が高まりつつある。しかし、現場実習については先輩の話やVTR等でしか見聞きしておらず、日程や具体的な活動について十分理解できていない。</p> <p>そこで、本単元では間近に迫った現場実習に向けての学習に取り組みさせることで、働くことに対する興味・関心を高めさせ、現場実習への見通しや意欲を持たせる。そして社会人としての望ましい対人関係の持ち方等についても意識させていきたい。</p> <p>具体的には、過去の現場実習の様子を視聴したり、自分たちが働く職場を見学したりすることを通して、現場実習に対する興味・関心を高めさせていく。また、現場実習に向けて学習計画表や実習日誌等を用いることで見通しを持たせながら、職場での一日の流れや仕事内容を具体物を用いたり動作化したりするなど現実場面に即した具体的な活動をさせることでできるだけ体験的に学ばせていく。活動する際は友達の活動にも注目させたり、友達と協力して活動する場面も設定していくことで、生徒たちに望ましい対人関係の持ち方等についても考えさせ、現場実習に向けての心構えや意欲を持たせていく。</p>			
目 標	<p>○ 職場見学や現場実習の準備の学習を通して、働くことへの興味・関心や対人関係の持ち方についての意識を高めるとともに現場実習への見通しや意欲を持たせる。</p>			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 現場実習の計画について知る。</p> <p>(1) 昨年度の現場実習について知る。</p> <p>(2) 現場実習の計画について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日、日程 ・ 実習先 ・ 仕事内容 <p>(3) 学習計画表を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の先輩や現場実習での様子をVTRや写真や具体物等を使って知らせることで現場実習の内容について関心を高める。 ・ 実習先やその仕事内容については、地図や写真、製品等を準備し分かりやすく提示する。 ・ 今後の学習に用いていくことで活動に見通しを持って取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 学習計画表 	<p>道 1-(2) 2-(1) 2-(5) 4-(4)</p> <p>数 4-9</p> <p>国 3-15</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>2 職場見学をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習先 ・ 仕事内容 <p>3 現場実習の準備をする。</p> <p>(1) 通勤方法を知る。</p> <p>(2) 実習日誌を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 書き方 ・ 提出の仕方 <p>(3) 職場での一日について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場での生活 ・ 職場での約束 ・ 目当て 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習する職場を実際に訪問することで自分の職場の場所や仕事内容について確認させ、仕事への意欲や自覚を高める。また、友達の仕事にも関心を持たせる。 ・ 家から実習先までの道順や交通機関を地図や路線図等を利用して調べさせる。具体的な練習は家庭との連携を図る。 ・ 実際の職場の雰囲気ができるように職場で用いている道具等を準備し、一日の流れに沿ってあいさつや仕事を動作化させることでより職場のイメージを持ちやすくする。また友達の活動にも注目させる。 ・ 昨年の校内実習の様子や仕事内容等を参考に具体的な目当てを設定させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ 製品 ・ VTR ・ 写真 ・ 道具 	<p>社 4-23 24 5-23</p> <p>職 4-32 33 34</p> <p>道 3-(3)</p> <p>社 4-29 5-28</p> <p>国 3-15 4-15</p> <p>職 4-9, 10, 11</p> <p>生・手 5-9, 10 3-7, 10</p>
<p>4 現場実習壮行会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習先 ・ 仕事内容 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>壮行会に参加する。 現場実習をする。 校内実習をする。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体場で実習先や目当てを発表させることで、実習で頑張ろうという意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目当てカード 	<p>国 3-4 4-6</p>
<p>5 反省をする。</p> <p>(1) 反省会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張ったことの発表 <p>(2) 実習先にお礼状を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1, 2年生と一緒に校内実習や職場実習について、お互いの実習での成果を発表し合ったり、認め合ったりさせることで成就感や自信を持たせる。 ・ 実習先に対して感謝の気持ちを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ はがき 	<p>国 3-3, 4 4-6</p> <p>国 3-18 4-16</p> <p>生・交 3-11</p>

中学部

単元名	年 の く れ		27時間 12月上旬～12月下旬
単 元 に つ い て	<p>12月は、二学期を終え冬休みを迎える月であるだけでなく、1年を振り返り締めくくる月であると同時に、新しい年を迎えるための準備の月でもある。</p> <p>生徒たちは、4月の新学期以降様々な学習活動に取り組むことで、学校生活の大きな流れについて理解しつつある。しかしながら、1月に始まり12月に終わる1年の周期については、その自然現象や社会事象の移り変わりや特徴を十分に意識しながら生活しているとは言いがたい。</p> <p>そこで本単元では、年の暮れの様々な社会的行事や事象への参加を通して年末の生活への理解と関心を深めることを中心としながら、1年間を季節的に振り返らせることで自然現象についての興味・関心を広げ、日常生活との関係を理解させることを主なねらいとする。また、二学期に成長したことをお互いに確認させ、冬休みを有意義に過ごそうとする意識を高めることへとつなぎたい。</p> <p>具体的には、暮れの街を見学し、クリスマス会やもちつき大会に参加することで、年末の社会事象への理解と関心を深め、VTR等を用いて1年間を振り返らせることで、自然現象の移り変わり等へも目を向けさせる。また、二学期の互いの成長を承認し合える場を設定することや、アルバム整理や課題帳の作成等を通して、冬休みの有意義な生活への意欲を高めたい。これらの活動を通して、生徒たちは社会と自分の生活との関係についてより多く認識し、意欲的に社会へ参加しようとする態度を培うことができる。</p>		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年始から年末までの1年間の出来事を振り返らせることで、暮らしとの関連の中で季節の移り変わりに気付かせる。 ○ 年末の家庭や街の様子を見たり、クリスマスやもちつきなどの行事を経験させることで、年の暮れの生活への関心を高める。 ○ 二学期の反省と冬休みへの準備を通して、冬休みを計画的に過ごすことへの意識を高める。 		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
<p>1 1年間を振り返り、いろいろな出来事について話し合う。</p> <p>(1) 正月からの1年間の季節の移り変わりや主な出来事を振り返る。</p> <p>(2) 歳末の特徴や主な行事等について話し合う。</p> <p>(3) 学習計画表を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節感を味わえるVTR等の資料を利用し、四季の移り変わりをとらえやすいようにする。 ・ 学校生活だけでなく家庭生活も振り返るように親からの情報収集に努める。 ・ 昨年度の暮れの街の見学やクリスマス会及びもちつき大会のVTR等でイメージを膨らませると同時に、雑誌や広告紙等の社会の情報も利用して、歳末の雰囲気について感じとらせる。また、暮れの 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本年VTR ・ アルバム ・ 夏休みの課題帳 ・ 親からの家庭資料 ・ 昨年VTR ・ 広告紙 ・ カタログ雑誌 	<p>理 4-22</p>

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>2 暮れの街の様子について知る。</p> <p>(1) 「暮れの街の見学」について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 暮れの街の特徴 ・ 学習内容（期日、日程、場所など） <p>(2) 暮れの街の見学をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街の様子を見学 ・ プレゼント等の買い物 ・ 食事 <p>(3) 見学の反省をする。</p>	<p>街でのクリスマスプレゼントの購入など見通しを持った学習計画になるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通機関の利用、買い物、食事、ゲーム等のための経費については、作業学習や校内実習と関連付け、働くことの喜びを感じとらせるとともに社会の仕組みについても理解させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お金 ・ メニュー ・ 貯金通帳 ・ 校内実習 VTR・写真 	<p>道 4-(1) (2)</p> <p>職 4-46</p> <p>数 4-13</p> <p>生・金 3-6</p> <p>社 4-25</p> <p>生・公 3-2</p> <p>生・健 3-10</p>
<p>3 クリスマス会をする。</p> <p>(1) クリスマス会を計画する。</p> <p>(2) クリスマス会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ツリーの飾り付け ・ ケーキ作り ・ 出し物練習 ・ 招待状作り <p>(3) クリスマス会をする。</p> <p>(4) 反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会の準備については、ツリー、ケーキ、招待状など学級単位で役割を分担し、学部全体で作上げていくことで、学部集団への所属感を高めていくようにする。 ・ 親や教育実習生その他多くのゲストを招き、自分たちで企画した会を承認してもらえる場になるようにする。 ・ 家庭や地域のもちつき熟練者などを招き、参加してもらうことで、年末の日本の伝統的年中行事の雰囲気味わうことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ツリー ・ ケーキ材料、装饰材料 ・ サンタ衣装 ・ テープレコーダー ・ もちつき用具一式 	<p>職 4-36</p> <p>道 4-(4)</p> <p>生・社 3-7</p>
<p>4 もちつき大会をする。</p>	<p>（この行の留意点は前行の3と重複する）</p>	<p>（この行の準備は前行の3と重複する）</p>	<p>社 4-31</p> <p>道 4-(7)</p>
<p>5 二学期の学習活動を振り返る。</p> <p>(1) 二学期の反省をする。</p> <p>(2) 写真の整理をしながらアルバムの作成をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの生徒が二学期の間に成長したことを認め合える場になるように、生徒の変容について表にしたものなどを準備しておくことで、承認の欲求を満足させるような状況設定に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二学期 VTR ・ 写真 ・ アルバム 	<p>生・手 3-2</p>
<p>6 冬休みの準備をする。</p> <p>(1) 冬休みの過ごし方を知る。</p> <p>(2) 冬休みの課題帳を作る。</p> <p>(3) 大掃除をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題帳は、共同製作的なものやゲーム的なものを多く盛り込み、家族や親せきと十分にかかわり合えるような内容になるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬休み生活のしおり 	<p>家 4-31</p>
<p>7 まとめをする。</p>	<p>（この行の留意点は前行の6と重複する）</p>	<p>（この行の準備は前行の6と重複する）</p>	<p>（この行の関連内容は前行の6と重複する）</p>

中学部

単元名	新 し い 年		27時間 1月上旬～1月下旬	
単 元 に つ い て	<p>1月は、新年を迎え心を新たにする節目の時期であり、生徒たちは、家庭で初もうでをしたり、親せきの家へ年始まわりに行ったり、おせち料理を食べたりなど正月の行事を多く経験してきており新年を迎えた実感や喜びを感じつつあるが、今年も頑張ろうという新年への期待感はまた高まっていない。</p> <p>そこで本単元では、鏡開きや書初め会やお楽しみ会等の正月の行事等を通して、新年の抱負を持たせ、正月の行事への関心を高めさせるとともに新年を迎えた喜びを味わわせ、新年への期待感を持たせる。また、友達と共に活動する喜びを味わわせ、友達と協力する態度や積極的に集団活動へ参加しようとする態度を養わせていきたい。</p> <p>具体的には、年号について調べさせたり、年間の行事や上学年へ進級することなどについて知らせたりすることで、1年間の活動に見通しを持たせ、目当てを決めやすくする。そして、みんなの前で目当てを発表する機会を設定することでより意識を高めさせていきたい。また、書初め会や鏡開き等については正月の雰囲気が高めるような場の設定に努め、正月の行事に関心を高めさせるとともに新年を迎えた実感や喜びを味わわせる。また、諸行事の計画・準備・実施に当たってはできるだけ自分たちで行わせることで、成就感や自分たちでできるという自信を持たせ、友達と協力する態度や積極的に集団活動へ参加しようとする態度を育てる。</p>			
目 標	<p>○ 鏡開きや書初め会、新年お楽しみ会等を通して、新年への抱負を待たせたり、正月の行事への関心を高めたりして、新年を迎えた喜びを味わわせるとともに期待感を持たせる。</p>			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 新しい年について話し合う。</p> <p>(1) 年の呼び方について調べる。</p> <p>(2) 冬休みの生活について発表する。</p> <p>(3) 年間の行事について調べる。</p> <p>(4) 目当て（抱負）を決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暦や諸資料の絵や数字を基に年号、西暦、えとについて調べる。 ・ 主な行事について知らせることで、新年の活動に見通しを持たせる。 ・ 昨年の目当てを基に家庭と連携を図りながら決めていく。 ・ カードに書くことで、自分の目当てをよりいっそう明確にさせるとともに家庭との連携を図り意識を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暦 ・ VTR ・ 写真 ・ 文字カード 	<p>道 1-(2) 2-(1)</p> <p>数 4-9 5-5</p> <p>国 3-4 4-6</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>2 新年の行事について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な行事 ・ 学習計画表の作成。 <p>3 新年の行事をする。</p> <p>(1) 書初めをする。</p> <p>① 書初め</p> <p>② 鑑賞</p> <p>(2) 鏡開きをする。</p> <p>① 準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雑煮の作り方 ・ 買物 ・ 調理用具準備 <p>② 鏡開き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目当ての発表 ・ もち降ろし, もち割り ・ 雑煮作り ・ 会食 <p>③ 後始末</p> <p>4 冬の遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こま回し ・ たこ揚げ ・ 羽根つき等 <p>5 お楽しみ会をする。</p> <p>① 準備</p> <p>② お楽しみ会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 模範演技大会 ・ かるた取り大会等 <p>③ 後始末</p> <p>6 反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しかったことの発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新年の行事についてVTRや写真等で振り返ることで、新年の行事について発表させる。 ・ 一つ一つの行事について事前事後にどんな活動が必要か行事を思い出しながら、学習計画を立てさせていくようにする。 ・ 書く前に教師の方で手本を示す。 ・ 書く内容については、各自の目当てとすることで本人の自覚を促す。 ・ 作り方の手順については、実際に調理をしながら説明することで関心や理解を深める。 ・ 暮れのもちつきで作った鏡もちであることを知らせ、行事への関心を高める。 ・ 目当てカードを持って発表させることで本人の自覚を促し、お互いの目当てについて理解を深める。 ・ 調理では個の能力に応じて役割を分担し、協力して行うようにさせる。 ・ いろいろな遊びを準備することで生徒の興味・関心を高め、多くの遊びを経験させる。 ・ 学級ごとに大会の内容から準備・運営まで行わせることで、役割意識や所属感を高めていくようにする。 ・ 大会については、生徒の興味・関心を考慮し、冬の遊び等の活動とも関連を図りながら設定する。 ・ 楽しかったことなど発表させることで、お互いの活動を認め合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 写真 ・ 学習計画表 ・ 習字道具 ・ 調理用具 ・ 目当てカード ・ 調理用具 ・ 遊び道具 ・ VTR 	<p>国 5-24 道 4-(7)</p> <p>生・金 2-3 3-3</p> <p>国 3-4 4-6</p> <p>家 4-10, 16, 17 18, 20</p> <p>生・遊 3-1 4</p> <p>道 1-(5)</p> <p>生・役 3-4</p> <p>生・役 3-1 2</p> <p>国 3-4 4-6</p>

中学部

単元名	学 習 発 表 会		3 6時間 1月下旬～2月下旬	
単 元 に つ い て	<p>生徒たちは、これまでに友達と共に活動する喜びや楽しさを感じる経験をしてきており、集団の中で活動したい、そこで認められたいという欲求も高まっている。また、様々な形で自分を表現したいという欲求も高い。</p> <p>ところで学習発表会は、演劇、リズム、歌唱等を通して一人一人の力を十分に生かしながら全員で力を合せてこれまでの学習の成果を発表する場であり、生徒たちはそれへの参加をととても楽しみにしている。このことから、この発表会に向けての学習では積極的な活動が期待でき、また自分を思い切り表現する機会ともなりうると考える。</p> <p>そこで本単元では、グループを中心に学習発表会に向けて道具を作ったり、練習をしたりする活動を通して、役割意識を高め、友達と協力する態度を養うとともに演劇、リズム、歌唱等の表現力を伸ばしていきたい。</p> <p>具体的には、まず昨年のVTRや教師の演技などで学習発表会のイメージを持たせ、期待感を高める。次に準備や練習に取り組む際は、自我、欲求、興味・関心、経験等を考慮したグループを構成し、学部全体での活動と合わせて効果的に展開できるようにする。また、役割が明確な活動や共同的な活動を工夫し、自分や友達の役割を意識して協力して取り組めるようにする。更に、見通しを持ちやすい内容を工夫したり、教師の演技を見せたりして表現力の向上を図る。加えて互いに承認し合える場を多く設定し、成就感を持たせていく。これらを通して、また学習発表会をやり遂げることで自信を持ち、これからの生活での主体的な態度につながっていくと考える。</p>			
目 標	<p>○ 学習発表会への練習や準備を通して、自分の役割や分担を意識し、協力して責任を果たすことができるようにするとともに、演劇、リズム、歌唱等の表現力を伸ばし、学習発表会に進んで参加できるようにする。</p>			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
<p>1 学習発表会について知る。</p> <p>(1) 昨年の発表会を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日 ・ 発表内容 <p>(2) 今年の発表会について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期日 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRや昨年用いた道具、紙芝居等を利用して、イメージを持たせやすくするとともに、興味や意欲を高める。 ・ 2・3年生を中心に昨年の発表会について発表させることで1年生に興味を持たせるとともに、2・3年生が主体的に活動できるようにする。 ・ 劇については紙芝居や教師の演技などイメージを持たせやすくする工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小道具 ・ 紙芝居 ・ VTR ・ 文字カード ・ 紙芝居 	<ul style="list-style-type: none"> 国 3-1 国 2-5 国 4-6 国 4-1 数 3-7 	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表内容（劇，リズム，作品展示） ・ 学習計画表作成 <p>2 学習発表会の準備や練習をする。</p> <p>(1) 役や係を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配役 ・ グループ <p>(2) 道具の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大道具 ・ 小道具 ・ 衣装 <p>(3) 劇，リズムの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ練習 ・ 全体練習 <p>・ 予行練習</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>学習発表会に参加する</p> </div> <p>3 反省をする。</p> <p>(1) 頑張ったことを発表する。</p> <p>(2) 絵や作文をかく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容やせりふは生徒の実態に応じて分かりやすく，また言いやすいように工夫する。 ・ 上級生の経験を活動に生かし，1年生が見通しを持ちやすくするために，学年を解いたグループを構成する。 ・ 配役やグループは生徒たちの自我，欲求，興味・関心，昨年の係等を考慮する。 ・ 役のイメージを高めるために，中心的な小道具を作って練習に臨むようにする。 ・ 生徒相互で協力して活動できるように，共同的な活動や役割を明確にした活動を準備する。 ・ 台本の製本も生徒の活動に取り入れる。 ・ 教師が演技してみせることで，表現力を高める一助とする。 ・ 国語や音楽の学習と十分関連付けながら展開していく。 ・ せりふは，練習の中で生徒の実態に応じ適宜修正する。 ・ 頑張った点はその都度褒め，承認の欲求に応じ，練習の意欲を高める。 ・ 練習の様子を録画して見せることで，自分や友達の練習の成果を確認させる。 ・ グループや全体の練習を関連させながら取り入れ，練習の効果を高める。 ・ 生徒の実態に応じてマイクを使わせる。 ・ 国語や美術の学習との関連を図る。 ・ 予行で頑張った点，もう少しの点などを反省させ，当日への意欲を高める。 ・ 頑張ったことを生徒相互で認め合わせることで，成就感を味わえるようにする。 ・ VTRや小道具等を用いて思い出すときの手がかりにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペーパーサート ・ 計画表 ・ 筆記用具 ・ 役割表 ・ 厚紙 ・ 画用紙 ・ 絵の具 ・ ダンボール ・ 道具の見本 ・ ビニルテープ ・ のり ・ はさみ ・ 台本 ・ ホチキス ・ 衣装 ・ VTR ・ マイク ・ VTR ・ 小道具 ・ 画用紙 ・ 作文用紙 	<p>国 4-1</p> <p>数 2-6</p> <p>国 3-15</p> <p>道 4-(1)</p> <p>2-(3)</p> <p>1-(5)</p> <p>図美 3-11</p> <p>生・役 3-4</p> <p>国 3-7</p> <p>音 3-9</p> <p>国 3-4</p> <p>4-6</p>

中学部 1・2学年

単元名	もうすぐ進級		27時間	2月下旬～3月下旬
単 元 に つ い て	<p>3月は一年間の学習のまとめの時期であるが、1年生は学年が終わることをあまり意識できず、2年生はある程度意識しているものの、共に一年間を通しての自分や友達の成長を振り返ろうとする姿はあまり見られない。また、3年生の卒業も近いが、3年生に対するお礼の気持ちや卒業を祝う気持ちなども持ちにくい。</p> <p>そこで、本単元では、VTRを見たり写真の整理をしたりすることにより、一年間の楽しかった出来事や苦しかったこと、悔しかったことなどを思い出したり反省したり、思い出テープや文集を作ることにより学習のまとめをしたりする。また、一年間過ごした教室や特別教室を掃除したり、作品の整理をしたりする。このような活動を通して4月のころと比べて自分や友達が成長していることに気付かせるとともに、一年の締めくくりであることを意識させ、新しい学年になることへの喜びや希望を持たせるようにする。また、3年生と過ごしたことやお世話になったことを思い出したり、お別れ会や卒業式の準備をしたり参加したりすることにより、3年生へのお礼の気持ちや卒業を祝う気持ちを持たせるようにする。</p> <p>指導に当たっては、生徒たちが成長の様子を視覚的にとらえやすいような資料を準備する。また1年生は自分の成長を中心に振り返らせ、来年は今年の経験を生かして頑張ること、2年生は自分だけでなく友達の成長にも目を向けさせ最高学年として頑張っていくことを意識付けたい。</p> <p>このような学習を通して、一年間の節目を意識するようになり、新しい学年への希望を持って生活していけると考える。</p>			
	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルバムの整理、思い出テープや文集作りを通して一年間を振り返り、自分の成長に気付かせるとともに、2年生になることへの喜びと希望を持たせる。(1年) ・ アルバムの整理、思い出テープや文集作りを通して一年間の反省とまとめをし、自分や友達の成長に気付かせるとともに、最高学年になることへの喜びと希望を持たせる。(2年) ・ お別れ会や卒業式の準備や参加を通して、卒業生を祝福しようという気持ちを持たせる。 		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
<p>1 一年間の思い出について話し合う。</p> <p>(1) 学習計画表を作る。</p> <p>(2) 一年間を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体面 ・ 身辺処理面 ・ 学習面 ・ 運動面 <p>2 一年間のまとめをする。</p> <p>(1) アルバムの整理をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTRを見ながら、大まかに一年間の行事を思い出させる。1年生は自分を中心に、2年生は自分だけでなく友達にも目を向けさせ成長の様子に気付かせる。 ・ 成長の様子が視覚的にとらえやすいような資料を準備する。 ・ 3年生との思い出も話し合いながら、3年生との別れも近いことを知らせる。 ・ それぞれの写真について、そのときの思い出を話しながら、楽しんで活動ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ VTR ・ 身体測定一覧表 ・ アルバム ・ 写真 	<p>国 3-14 3-15</p> <p>数 3-7 4-8</p> <p>生・健3-3</p> <p>国 3-3 4-4</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(2) 思い出テープを作る。</p> <p>① 吹き込み内容を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生との思い出 ・ 自分で頑張ったこと ・ 歌 <p>② 練習をする。</p> <p>③ 録音をする。</p> <p>(3) 文集を作る。</p> <p>① 書く内容を決める。</p> <p>② 書く。</p> <p>3 お別れ会をする。</p> <p>(1) 準備をする。</p> <p>① 会の内容を知る。</p> <p>② 役割分担をする。 (装飾係、名札係、招待状係など)</p> <p>③ 会場設営をする。</p> <p>(2) お別れ会をする。</p> <p>4 卒業式の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生へのはなむけの意味も込められていることを知らせ、内容を決める際に配慮させる。 ・ 発音がはっきりしない生徒には、ゆっくりと一音ずつ発音させるようにする。 ・ 国語や音楽などの関連を図りながら、指導を進めていくようにする。 ・ 題材の決定は、生徒の自由な発想に任せるが、連絡帳やこれまでの学習など資料を準備し決めやすいようにする。 ・ 計画から準備、会の運営まで全て1、2年生で行うことを意識付ける。 ・ 2年生は、昨年の経験を生かしながら役割分担や準備を積極的に行わせるようにする。1年生は、自分の役割を知り活動させるようにする。 ・ 3年生とのお別れ会や卒業式に参加させる前に、3年生との思い出やお世話になったことを振り返らせ、別れを惜しむ気持ちや祝福する気持ちを持たせる。 ・ 礼の仕方やいすの座り方などを中心に練習させ、卒業式の持つ雰囲気などを感じさせるようにする。 ・ 一年間過ごした教室や学習した特別教室など掃除をすることにより、物を大切にす気持ちや感謝の気持ちも持たせるようにする。 ・ 新しい学年に対しての意識付けとして新しい学年の教室を見る活動も取り入れるようにする。 ・ 作品等の整理をさせながら、一年間の頑張りを確かめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ 昨年文集 ・ 名札 ・ 色画用紙 ・ 色紙 ・ フェルトペン ・ はさみ ・ のり ・ いす ・ ほうき ・ ぞうきん ・ 作品 ・ 白表紙 	<p>国 3-8 4-4 4-8 音 3-16 3-17 3-20 4-3 4-15 国 3-15 4-15 国 3-3 3-8 4-8 道 1-(3) 道 4-(1) 道 2-(5)</p>
<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">卒業式に参加する。</p> <p>5 教室内外の整理をする。</p> <p>(1) 教室内外の掃除をする。</p> <p>① ほうきで掃く。</p> <p>② ぞうきんでふく。</p> <p>(2) 作品の整理をする。</p> <p>6 まとめをする。</p>	<p>・ 卒業式への準備や参加を促す。</p>	<p>・ ほうき</p> <p>・ ぞうきん</p> <p>・ 作品</p> <p>・ 白表紙</p>	<p>生・基 1-34 道 4-(6) 道 4-(4) 道 2-(2) 図 3-14</p>

中学部 3 学年

単元名	もうすぐ卒業		18時間	2月下旬～3月下旬
単元	<p>2月から3月にかけてのこの時期、3年生は中学部の卒業を控えており、三年間のまとめの時期であるが、生活のなかでの節目を十分意識できにくいため、しめくくりの意識や新しい生活への希望を持ちにくいと言える。</p> <p>そこで本単元では、三年間のまとめやお別れ会への参加、卒業式の練習等を通して互いの成長に気付かせるとともに、卒業という一つの節目であることを意識させ、親や友達への感謝の気持ちを持つことができるようにしたい。</p> <p>具体的には、まず、三年間をVTRや具体物を手がかりに振り返る、思い出をカセットテープに録音する、写真をアルバムにはる、文集を作るという活動を通して三年間のまとめをし、自分や友達の成長やしめくくりであることを意識させていく。次に、卒業式の練習を実際的な形で行わせ、卒業する意識を高め、親や友達にプレゼントを作りお別れ会で渡すことなどを通して感謝の気持ちを持たせていく。更に、高等部についての話や見学、体験入学を通して新たな生活への期待感を持たせていく。</p> <p>指導に当たっては、思い出の発表や目当ての反省など友達の前で行う活動を設定し、お互い認め合わせ、自己表現や承認の欲求に応じるようにする。また、録音の内容、お別れ会の出し物などの決定、練習、文集作りなどでは生徒たちで話し合わせたり、分担させたりすることで協力して活動できるようにし、集団への所属感や連帯感を感じさせていきたい。</p> <p>こうして、生活の節目を意識し新たな生活への希望を持てるようになると思う。</p>			
目	<p>○ アルバムの整理や思い出テープ、文集作りを通して三年間の反省とまとめをし、互いの成長に気付かせる。</p> <p>○ お別れ会の準備、参加や卒業式の練習を通して、卒業の意識を持たせるとともに、親や友達への感謝の気持ちを持たせる。</p>			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
<p>1 中学部三年間の思い出について話し合う。</p> <p>(1) 学習計画表を作る。</p> <p>(2) 三年間を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出来事 ・ 身体、学習面の成長 <p>等</p> <p>2 三年間のまとめをする。</p> <p>(1) アルバムの整理をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ お別れ会で手作りのプレゼントを作り、贈ることを知らせ、意欲を持たせる。 ・ VTRを視聴させたり、出来事に関連する道具等を提示したりして、思い出しやすいようにする。 ・ 暦やあと何日かを示すカードなどを用いて、卒業の日が近付きつつあることやその意義について気付かせる。 ・ 1年生のときからを振り返りながら写真をはらせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ はっぴ 劇の小道具 など ・ 暦 ・ VTR 	<p>数 3-7</p> <p>国 3-15</p> <p>国 3-3 3-4</p> <p>数 4-9</p> <p>生・健 2-2</p> <p>道 1-(3)</p>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(2) 思い出テープを作る。</p> <p>① 内容を決める。</p> <p>② 練習をする。 思い出、1・2年生に向けて、歌等</p> <p>③ 録音をする。</p> <p>(3) 文集を作る。</p> <p>① 書く内容を決める。</p> <p>② 原稿を書く。</p> <p>3 お別れ会に参加する。</p> <p>(1) お別れ会の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出し物の練習 ・ プレゼントの準備 <p>(2) お別れ会に参加する。</p> <p>4 卒業に向けての準備をする。</p> <p>(1) 卒業式の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌 ・ 礼や返事の仕方 ・ 証書の受け取り方 <p>(2) 身の回りの整理をする。</p> <p>(3) 高等部の見学をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">卒業式に参加する</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事など振り返った後、話す内容をできるだけ生徒たち自身で決めさせるようにする。言葉での録音が難しい生徒は、楽器演奏など、発表のさせ方を工夫し、互いに認め合えるようにする。 ・ 個人だけでなく、学級全員での歌唱や演奏などにも取り組ませ、連帯感を味わわせる。 ・ 書く内容はできるだけ生徒たち自身で決めさせる。文章だけでなく、絵など得意なものを生かせるようにする。 ・ 印刷、製本まで生徒たちで分担、協力して行えるようにする。 ・ 国語科の学習と関連を図るようにする。 ・ 内容は生徒たち自身で決めさせ、楽器など得意なものも取り入れ、互いに認め合えるようにする。 ・ プレゼントを作り渡すことで、感謝の気持ちを持たせる。 ・ 練習の中で上手になった点は褒め、自信を持たせる。 ・ 礼儀作法についても指導する。 ・ 卒業式は別れであると同時に新たな出発であることを知らせ、卒業式後の生活への意識を持たせる。 ・ 作品の整理や教室の片付けなどをさせ卒業するという実感を持たせながら卒業式への心構えも十分持たせる。 ・ 一緒に活動させて、イメージを持たせ、新しい生活への期待感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープレコーダー ・ マイク ・ 楽器 ・ 原稿用紙 ・ 筆記用具 ・ ホチキス ・ 製本テープ ・ テープレコーダー ・ 楽器 ・ マイク ・ 証書 ・ 作品綴り ・ 作品箱 	<p>国 4-6 生・交 3-1 道 2-(2) 音 4-3 国 3-15 生・役 3-4 音 3-8 道 2-(2) 2-(3) 4-(5) 2-(1) 社 4-1 生・決 1-13 家 4-31</p>